

## 平成 28 年度 第 4 回理事会議事録

- 1 日 時 平成 28 年 9 月 13 日 (火) 午後 3 時 00 分～4 時 45 分
- 2 場 所 協会事務室
- 3 出席者 理事 14 名 監事 2 名 欠席 なし
- 4 進行 竹内会長
- 5 協議事項

開会前に、会長から、患者同士のトラブルで病院内で死亡者が出るという事故があったが、各病院とも患者への対応や入院患者の安全確保には十分に留意願いたいとの話があった。

(1) 代表者・院長会議について

資料(案)のとおり進行することとし、講演時間は天保院長、竹島センター長それぞれ 60 分とすることとなった。

(2) 各種委員の推薦について

県救急搬送受入協議会委員は、引き続き山口理事を推薦することとし横浜市精神医療審査会委員は、今後事務局で候補者を検討することとなった。川崎市実地審査担当精神保健指定医は、現委員 7 名を推薦するとともに、他の候補者を事務局で検討することとなった。また、熊田前理事の後任として、川崎市精神保健福祉センター判定会委員及び川崎市精神医療審査会・予備委員についても、事務局で候補者を検討することとなった。

6 報告事項

(1) 日精協報告等について

畑理事から、8 月 4 日に開催された全国支部長会議の概要について報告があった。

○各支部からの問題提起と回答について

- ・精神科救急医療体制委託料の削減予定(熊本支部)
- ・認知症専門病棟の整備要望(秋田支部)
- ・地域医療連携推進法人制度の創設(奈良支部)

○執行部からの報告

- ・相模原市障害者施設殺傷事件に関する声明
- ・熊本地震被災病院に対する義援金
- ・日精協定款検討会議
- ・日本精神科医学会、学術教育推進制度 他

大野副会長から、平成 28 年度第 4 回理事会(9 月 1 日開催)の概要について報告があった。

○精神科薬物療法に関する研修会の実施について

○麻薬、麻薬原料植物、向精神薬及び麻薬向精神薬原料を指定する政令の一部を改正する政令について

○第 5 回日本精神科医学会・学術大会について

○重度認知症患者に対する抗認知症薬・向精神薬についての調査

○相模原市障害者施設における事件の検証及び再発防止策検討チーム

○日本専門医機構第 4 回理事会

畑理事から、9 月 8 日に開催された日精協関東地区支部長会の概要について報告があった。

○神奈川県支部からは、

- ・相模原市障害者施設での事故
- ・聖マリアンナ医大の指定医不正取得

- ・患者による他の患者の刺殺事故  
を報告した。他県の支部からは、DPAD の報告が多くあった。
- (2) 各種委員の推薦について  
県医療審議会委員として竹内会長を推薦したことの報告があった。
- (3) 各種表彰候補者の推薦について  
資料に基づき、各種表彰の候補者をそれぞれ推薦したとの報告があった。なお会長より、各病院が職員を推薦するにあたっては、当協会の会長表彰を受賞していることが推薦の条件であると理解してほしいとの話があった
- (4) 各種表彰者の決定について  
資料に基づき、県救急医療功労者等の受賞者の報告があった。
- (5) 事務長会・看護部長会・薬剤部長会の各総会について  
各担当理事より総会及び研修会について話があった。
- (6) 栄養課職員研修について  
長谷川理事から資料に基づき案内があった。
- (7) 第3回理事会議事録について  
議長から、修正があれば事務局に連絡するよう発言があった。
- (8) その他  
会長から9月2日に開催した精神科救急医療体制連絡会議に関して、平日輪番について行政側から受付時間を16時までとしてももらえないかという話があったが、一方で、17時までの診療という制約がある中で、受付時間の延長では解決にならないので、午後輪番病院を設け17時以降も継続して診療できるようにするという考え方もある。今後、代表者・院長会議などを通じて会員のご意見を聞きながら、行政と調整していきたいとの話があった。

以上で、全ての審議を終了し議長は午後4時45分理事会の閉会を告げた。